

# 令和5年9月議会提出予算議案

歳出補正額

9.3億円

こどもまんなか応援サポーターとして活動することを宣言した徳島市では、教育や子育て環境の更なる充実を図るとともに、物価高騰の影響を受ける家庭や事業者など、困難な状況に直面している方々の負担を軽減するための予算を中心に編成しました。

新…新規事業、拡…拡充事業

教育・  
子育て  
環境の  
充実

(1) トイレ洋式化スピードアップ事業費 **拡** 53,410千円

令和12年度を目処に進めていたトイレ洋式化をスピードアップし、児童生徒・園児が快適に学ぶことができる教育環境を整える。

(2) 教育・保育給付費負担金・保育所運営費負担金 **拡** 23,917千円

子育て家庭の負担を軽減するため、市単独で第2子保育料半額の完全実施を行う。

※(歳出) +12,741千円、(歳入) △11,176千円

(3) ファミリー・サポート・センター利用促進事業費 **新** 800千円

徳島ファミリー・サポート・センターについて、利用者の負担軽減とサービス提供者の人材確保を図るための補助を行う。

(例)「利用会員」平日700円/時⇒500円/時、「提供会員」平日700円/時⇒900円/時

(4) 子育て世帯物価高騰対策支援事業費 **新** 445,324千円

物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担感や不安感を軽減するため、市独自で、18歳までの子ども1人あたり1万円の支援金を給付する。

(5) 学校給食費支援事業補助 **拡** 24,333千円

給食材料費等の更なる価格高騰のなか、これまでどおりの安定的な学校給食を提供するため、緊急的に価格高騰分を補助する。献立作りにおいては、カロリーに加え、栄養素をバランス良く摂取するために、更に工夫を凝らした取り組みを進める。

(6) 中小企業生産性向上支援事業費 **新** 29,342千円

物価高騰等の影響により、経営の安定に支障が生じていながらも、国の事業を活用し、前向きな投資を行う中小企業者を支援する目的で、1事業者あたり10万円を上限として、国補助金に上乗せして補助を行う。

(7) 中小企業事業継続支援事業費 29,910千円

事業の継続を支援するため、指定期間内にセーフティネット保証の認定を受けた事業者のうち収入が対象月と比較して20%以上減少した者に対し、1事業者あたり10万円の支援金を給付する。

(8) 指定管理業務継続支援事業費 6,723千円

電気料金上昇の影響による、光熱費の高騰など、施設の管理運営に係る負担が増加した指定管理者に対し、支援金を給付する。

物価高騰  
対策

(9) 公園整備費(循環型トイレ設置事業費) **新** 40,150千円

微生物の食物連鎖を活用した循環型システムを備え、上下水道がない場所でも設置可能なトイレを眉山公園の大滝山エリアに新たに設置する。

(10) 自転車ヘルメット購入支援事業費 **新** 10,114千円

自転車事故による「交通死亡事故ゼロ」及び「負傷の軽減」のため、65歳以上の高齢者及び高校生世代を対象に、ヘルメット購入費用の一部を補助する。(上限3,000円)

その他

(11) その他 277,675千円

介護事業所の非常用自家発電設備整備補助、とくしまマラソン2024開催費補助、等